

| | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------------|-----|---------|-----|---------|-----|------------|-----|-------|
| 科目名 | スポーツプロジェクト2 | | | | | | | 年度 | 2026 |
| 英語科目名 | Sport Skills 2 | | | | | | | 学期 | 後期 |
| 学科・学年 | スポーツ健康学科 スポーツビジネスコース 1年次 | 必/選 | 必 | 時間数 | 120 | 単位数 | 8 | 種別※ | 講義+演習 |
| 担当教員 | 石川和希 | | 教員の実務経験 | 有 | 実務経験の職種 | | スポーツ用品メーカー | | |

【科目の目的】

イベント企画・提案を行うための基礎的な知識も身につけながら、個人ワークやグループワークを採り入れ、イベントの企画・実施が出来るようにする。

【科目の概要】

イベント企画・提案を行うための基礎的な知識も身につけながら、地域スポーツやプロスポーツチームとの連携での実習で経験を積み、アウトドア実習等と関連させたレクリエーションアクティビティの企画・提案を行います。

【到達目標】

- A. イベント企画の基礎知識の理解、説明が出来る。
- B. イベントの提案、企画の立案、発表・説明が出来る。
- C. 模擬イベントの参加、実行が出来る。
- D. 様々なイベント事例のメリット・デメリットについて理解、説明できる。
- E. グループワークでは、相手の意見を聞き入れ、自分の意見も発言できる。

【授業の注意点】

学生間・教員と学生のコミュニケーション、グループワークを重視します。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応します。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価することが出来ない。

評価基準＝ルーブリック

| ルーブリック 評価 | レベル3 優れている | | レベル2 ふつう | | レベル1 要努力 |
|--------------|----------------------------------|--|-------------------------------|--|--------------------------------|
| 到達目標 A | イベント企画の基礎知識の理解、説明が出来る | | イベント企画の基礎知識の理解出来る | | イベント企画の基礎知識の理解出来ない |
| 到達目標 B | イベントの提案、企画の立案、発表・説明が出来る | | イベントの提案、企画の立案が出来る | | イベントの提案、企画の立案が出来ない |
| 到達目標 C | 模擬イベントの参加、実行が出来る | | 模擬イベントに参加出来る | | 模擬イベントへ参加出来ない |
| 到達目標 D | 様々なイベント事例のメリット・デメリットについて理解、説明できる | | 様々なイベント事例のメリット・デメリットについて理解できる | | 様々なイベント事例のメリット・デメリットについて理解できない |
| 到達目標 E | グループワークでは、相手の意見を聞き入れ、自分の意見も発言できる | | グループワークでは、相手の意見を聞き入れる | | グループワークに参加しない |

【教科書】

授業に必要な教材資料等については教員にて準備・配布する。参考書等を使用する場合には授業内にて指示する。

【参考資料】

とくになし

【成績の評価方法・評価基準】

成績評価については、筆記もしくはレポートによる試験結果（中間/期末/定期的な提出物など）30%、授業中の参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）30%、出席状況40%とし、授業内における達成度・到達度を総合的に判断して行います。なお、成績評価を受けるためには、全授業の75%以上の出席が必要となります。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

| 科目名 | | スポーツプロジェクト2 | | | 年度 | 2026 |
|------|---------------|------------------------|--------------|--------------------------|------|------|
| 英語表記 | | Sport Skills 2 | | | 学期 | 後期 |
| 回数 | 授業テーマ | 各授業の目的 | 授業内容 | 到達目標＝修得するスキル | 評価方法 | 自己評価 |
| 1 | イントロダクション | スポーツイベント（スポーツビジネス）を知る | 1 スポーツビジネスとは | スポーツビジネスを理解、説明が出来る | 3 | |
| | | | 2 イベントとは | イベントの意味を理解、説明が出来る | | |
| | | | 3 企画とは | イベント企画方法の理解、説明が出来る | | |
| 2 | 様々なイベント事例紹介 | 様々なイベントのメリットを理解する | 1 イベント事例 | 様々なイベントの内容理解をしている | 3 | |
| | | | 2 メリット・効果 | そのイベントがどのような効果をもたらすか理解する | | |
| | | | 3 仮想イベント企画 | 実際に簡単なイベントを考え、発表が出来る | | |
| 3 | スポーツ体験会① | イベントへの参加、体験でイメージを膨らませる | 1 客観的視点 | どのようにしたら、楽しめるか理解する | 2 | |
| | | | 2 体験 | イベントに積極的に参加する | | |
| | | | 3 順序・組み立て | イベント流れを理解する | | |
| 4 | スポーツ体験会② | イベントへの参加、体験でイメージを膨らませる | 1 客観的視点 | どのようにしたら、楽しめるか理解する | 2 | |
| | | | 2 体験 | イベントに積極的に参加する | | |
| | | | 3 順序・組み立て | イベント流れを理解する | | |
| 5 | イベント企画① | グループでイベントの企画 | 1 個人ワーク | イベントを立案できる | 2 | |
| | | | 2 グループワーク① | 積極的に意見を発言できる | | |
| | | | 3 グループワーク② | 相手の意見も聞き入れることが出来る | | |
| 6 | イベント企画② | グループでイベントの企画 | 1 グループワーク③ | 役割分担を考えることが出来る | 2 | |
| | | | 2 グループワーク④ | 相手の意見も聞き入れることが出来る | | |
| | | | 3 グループワーク⑤ | タイムスケジュールを考えることが出来る | | |
| 7 | リハーサル | グループイベントの発表を想定 | 1 リハーサル | 協力してイベントを行えた | 2 | |
| | | | 2 イベント参加 | イベントに積極的に参加する | | |
| | | | 3 フィードバック | 改善点に理解できる | | |
| 8 | イベント実行① | グループイベントの発表 | 1 イベント実行 | 協力してイベントを行えた | 2 | |
| | | | 2 イベント参加 | イベントに積極的に参加する | | |
| | | | 3 フィードバック | 改善点を理解している | | |
| 9 | イベント企画③ | グループでイベントの企画 | 1 フィードバック | 改善点を考えることが出来る | 2 | |
| | | | 2 グループワーク⑥ | 積極的に意見を発言できる | | |
| | | | 3 グループワーク⑦ | 相手の意見も聞き入れることが出来る | | |
| 10 | イベント実行② | グループイベントの発表 | 1 イベント実行 | 協力してイベントを行えた | 2 | |
| | | | 2 イベント参加 | イベントに積極的に参加する | | |
| | | | 3 フィードバック | 改善点を理解できる | | |
| 11 | イベント企画④ | グループでイベントの企画 | 1 フィードバック | 改善点を考えることが出来る | 2 | |
| | | | 2 グループワーク⑧ | 積極的に意見を発言できる | | |
| | | | 3 グループワーク⑨ | 相手の意見も聞き入れることが出来る | | |
| 12 | イベント実行③ | グループイベントの発表 | 1 イベント実行 | 協力してイベントを行えた | 2 | |
| | | | 2 イベント参加 | イベントに積極的に参加する | | |
| | | | 3 フィードバック | 改善点に理解できる | | |
| 13 | イベント企画⑤ | グループでイベントの企画 | 1 フィードバック | 改善点を考えることが出来る | 2 | |
| | | | 2 グループワーク⑩ | 積極的に意見を発言できる | | |
| | | | 3 グループワーク⑪ | 相手の意見も聞き入れることが出来る | | |
| 14 | イベント実行④ | グループイベントの発表 | 1 イベント実行 | 協力してイベントを行えた | 2 | |
| | | | 2 イベント参加 | イベントに積極的に参加する | | |
| | | | 3 フィードバック | 改善点に理解できる | | |
| 15 | スポーツチームのインターン | 授業で学んだ経験を活かす | 1 役割遂行 | 割り当てられた仕事を全う出来る | 2 | |
| | | | 2 プラスαの仕事 | 言われて事以外の仕事も成し遂げることができる | | |
| | | | 3 改善 | 出来なかったことを理解できる | | |

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等